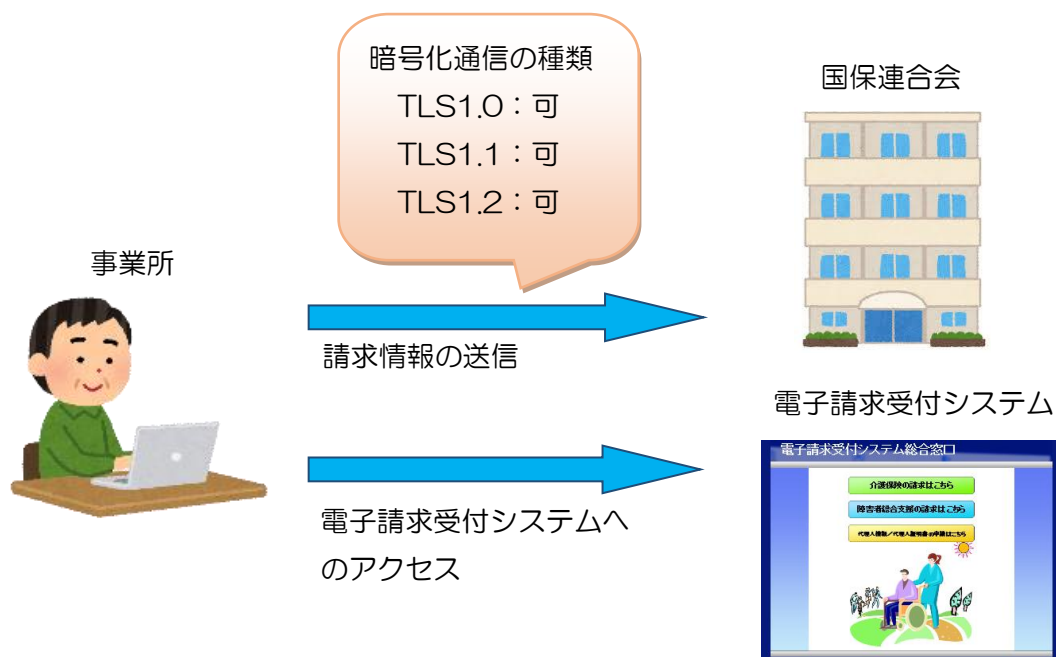


暗号化通信 (TLS) バージョンアップ対応について (障害総合支援)

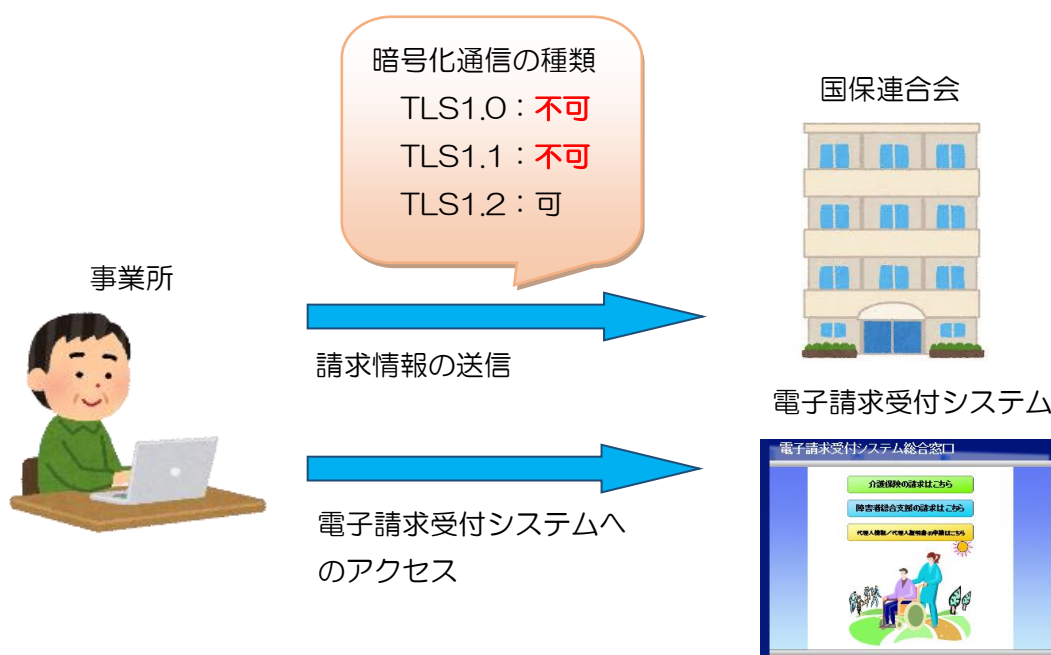
電子請求受付システムにおいて、請求情報送信やブラウザからのアクセス等、サーバとの通信時に通信内容を保護するために使用している暗号化通信のセキュリティを強化します。

(1) 概要

【現在】 TLS1.0、1.1 及び 1.2 いずれも通信可能となっている



【変更後 (令和3年4月以降)】 TLS1.2 のみ通信が可能となる



- (2) セキュリティ強化対応に伴う事業所での作業について
事業所で必要となる作業は以下のとおりです。

① バージョンアップ版 簡易入力システム・取込送信システムのインストール

・簡易入力システムまたは取込送信システムから、国保連合会への請求情報送信を行っている場合

令和3年4月の制度改正・報酬改定に合わせて、セキュリティ強化にも対応したバージョンアップ版をリリース予定です。

バージョンアップ版がリリースされましたら、お使いのパソコンにインストールを行ってください。

詳細な手順については、リリース時にお知らせいたします。

・代理人や本部に請求を委託（依頼）している場合

事業所で国保連合会への請求情報送信を行っていない場合、セキュリティ強化に伴う設定等の作業は発生しません。

② Internet Explorer のセキュリティ設定の確認

お使いのパソコンの Internet Explorer が、TLS1.2 での通信が可能な設定となっているかご確認ください。

確認手順につきましては、「Internet Explorer のセキュリティ設定の確認方法について」をご確認ください。



Internet Explorerのセキュリティ設定の確認方法について

概要	電子請求受付システムにおいて、請求情報の送信時等、サーバとの通信時に、通信内容を安全に保護するために使用している暗号化通信のセキュリティを強化します。この対応により、Internet Explorer のインターネットオプションの設定によってはエラー画面(※1)が表示され、電子請求受付システムにアクセスできない場合があります。
対応方法	Internet Explorer のインターネットオプションの《詳細設定》タブの設定内容を確認し、[TLS 1.2] を有効にすることで電子請求受付システムにアクセスできるようになります。 なお、設定の内容はお使いの Internet Explorer のバージョン(※2) をご確認の上、実施をお願いいたします。

※1 以下のようなエラー画面が表示される場合があります。



※2 各 OS で利用可能な Internet Explorer のバージョンは、以下の通りです。

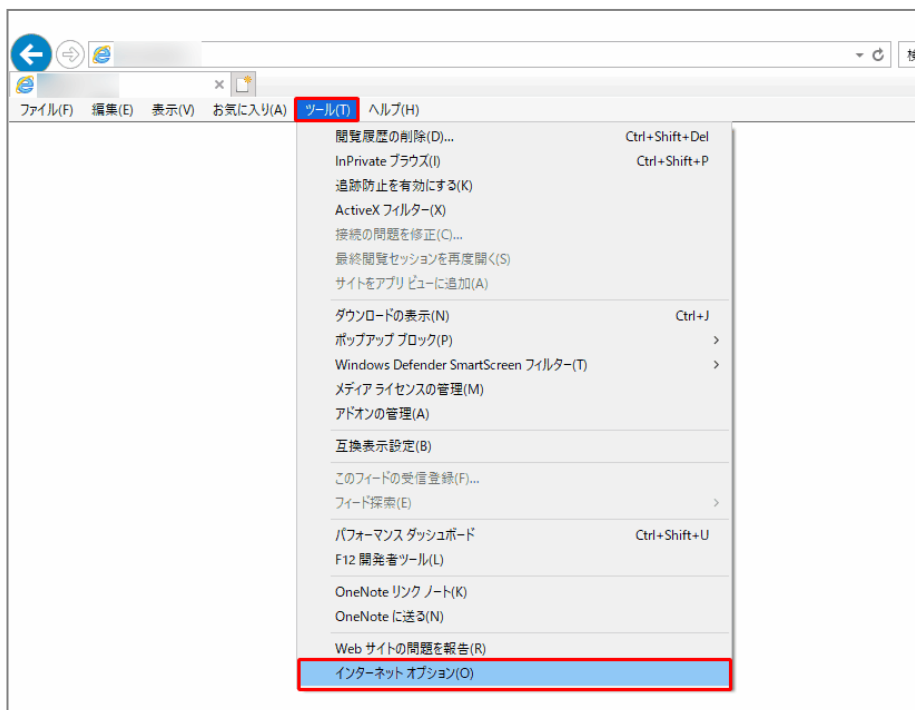
- Windows 8.1 及び 10 の場合 Internet Explorer 11


以下の手順に従って、Internet Explorer のインターネットオプションの設定を確認してください。
なお、管理者権限のあるアカウントで作業を行ってください。

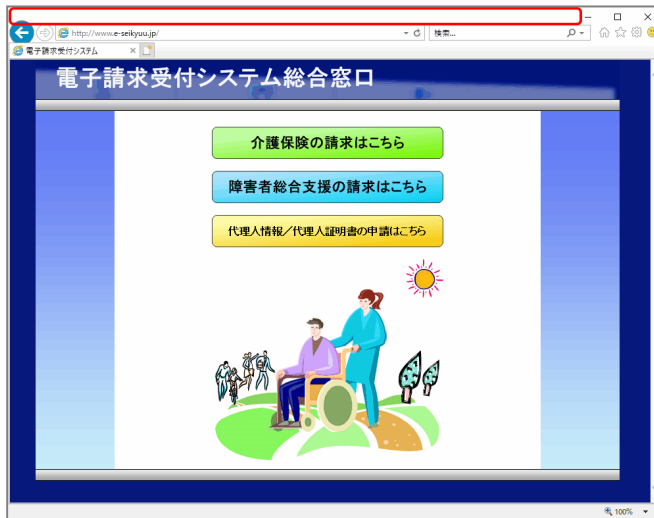
(1) Internet Explorer を起動します。



(2) メニューバーの《ツール(T)》→《インターネットオプション(O)》をクリックします。



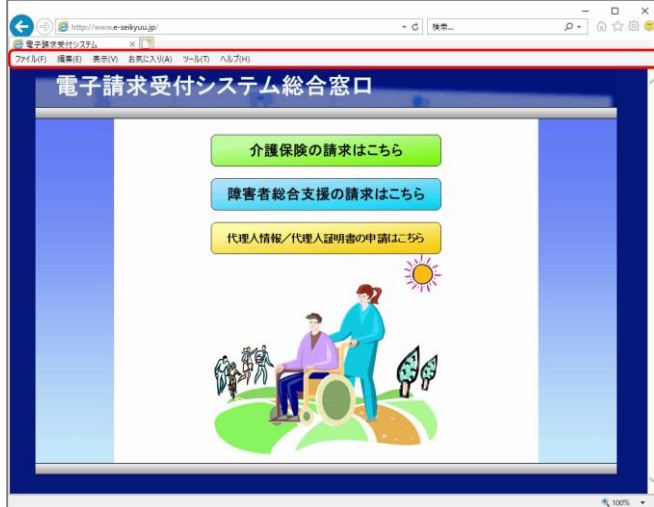
 **Point!** メニューバーが表示されていない場合



1. Internet Explorer の画面上の赤枠部を右クリックします。



2. 表示されたメニューより《メニューバー(E)》をクリックします。

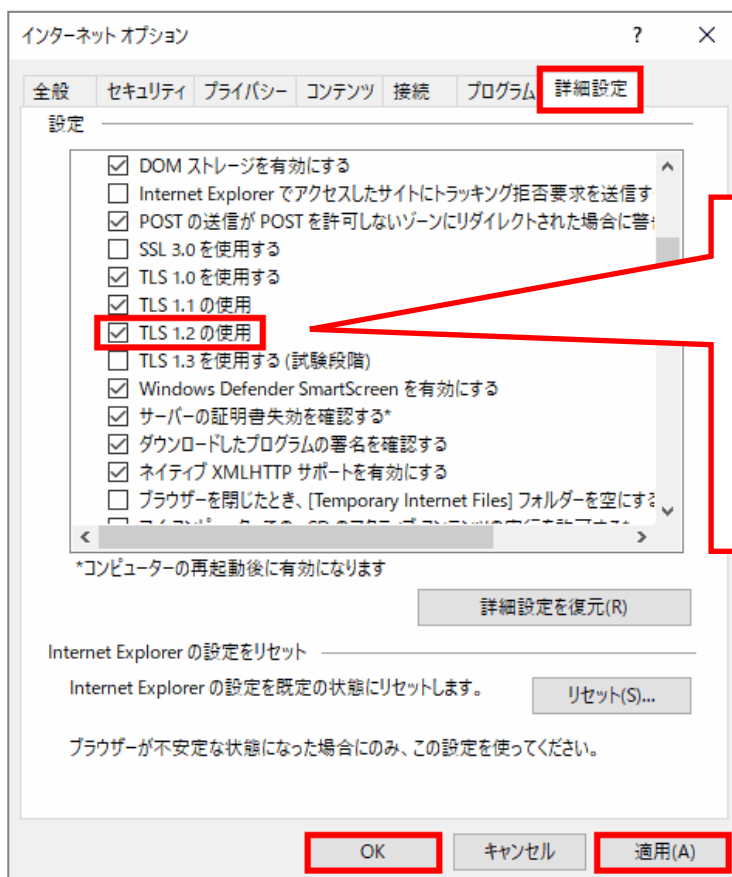


3. メニューバーが表示されます。



(3) 《詳細設定》タブをクリックします。

以下の通り、《セキュリティ》欄の設定内容を確認します。



[TLS 1.2] の設定が有効になっていることを確認します。
設定が有効になっていない場合、チェックを入れ、[適用] をクリックし、[OK] をクリックして、設定を有効にします。その後、Internet Explorer を再起動します。





Point! Internet Explorer のバージョン確認方法について



1. メニューバーより、《ヘルプ (H)》→《バージョン情報 (A)》をクリックします。



2. 表示された画面より、Internet Explorer のバージョンを確認してください。確認後、× ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

インターネットオプションの設定の確認手順は以上となります。

